

の提案にご賛成くださいますことをお願いいたしまして、ご説明にか
えさせていただきます。

○議長（末次性男君） 以上で提案理由の説明は終わりました。
これより本案に対する質疑を行ないます。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 以上で質疑を終わります。

○十三番（石川繁治君） この際動議を提出いたします。

ただいま議題となっております議案第四十八号については委員会
付託及び討論を省略し、原案のとおり可決されることを望ま
す。

（「賛成」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） おはかりいたします。ただいま石川繁治君から所定の
賛成者を得て、本案は委員会付託及び討論を省略し原案とお
り可決されたい旨の動議が提出されましたが、本動議のとおり決する
ことにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） ご異議なしと認めます。よって議案第四十八号は原案
どおり可決いたしました。

○議長（末次性男君） 日程第二十請願第一号五日市線無警告報踏切に対する
安全施設設置に關する請願書を議題といたします。
事務局長を以て請願書の朗読をいたさせます。

（島田議会事務局長朗読） 省略別添参照

○議長（末次性男君） 朗読を終わりました。

紹介議員、関米吉君から本趣旨の説明を求めます。

（十七番 関米吉君登壇）

○十七番（関米吉君） はなはだ僭越でございますけれども紹介議員を代表し
たいまして本請願に対する趣旨説明を行なわせていただきたいと思います。
います。

ただいま朗読されましたように、この本請願は昨年の十月、第
二小学校の通学路として指定されておりますところの五日市線の無
人踏切におきまして、子どもが自転車で横断中即死するという事



故をきつかけといたまいして、PTAや付近住民の皆さま方の声がほ
うふつとしてゆき起ったわけでございます。第二小学校におきまし
てはこの学童の所屬しております三学年を中心といたしまして、いろ
いろこの問題に対する話し合い等を行なわれ、またさらにはなく
ならぬまいした学童が居住をなまえておりますところの富士美台のP
TA支部等におきましても大きな関心を呼びまいて、この運動がゆ
き起ったものでございします。

ただいま朗読されましたように、この踏切に遮断機及び警報機の設
置、もしくは他の安全な施設を整備されまして、どうかこうたこ
どもたちの通学路に対しては、安全な施策を講じていたいただきたいとい
うものがこの請願の趣旨でございします。一千六十四名におよぶ署名
者は、第二小学校校長の外職員や先生方全員と、さらにはこの
第二小学地区におきますところのPTAの皆さん方、そして学校には
関係のない多くの市民の方々の署名が寄せられた次第でございします。
どうかこの人たちの願いが皆さま方のご理解をいただきまして採択
され、早期に実現されますようお願い申し上げます、本請願

に対する趣旨の説明にかえさせていただき次第でございします。
よろしくお願いいたします。

○議長（末次性男君） 以上で紹介議員の趣旨説明は終わりました。
これより本件請願に対する質疑を行ないます。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 以上で質疑を終ります。

請願第一号についてはお手元にご配付の別紙付託表のとおり建設
委員会に付託いたします。

○議長（末次性男君） おはかりいたします。委員会審査のため明十四日か
ら二十七日まで十四日間休会いたしたいと思います。これに異議あり
ませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（末次性男君） 異議なしと認めます。

よって明十四日から二十七日まで十四日間休会することに決定いた
しました。

なお、次回本会議は三月二十八日午前十時から開きます。
 以上をもって本日の日程は全部終了いたしました。
 本日は、これをもって散会いたします。
 午後七時二十七分散会



(写)

福総発第三三七五号

昭和四十八年三月十二日



福生市長 石 川 常太郎 印

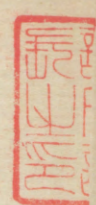
福生市議会議長

末 次 性 男 殿

議案の訂正について

昭和四十八年第一回福生市議会定例会に提案した議案について、つぎのとおり訂正いたしましたのでお取り計らいくださるようお願いいたします。

議案番号	訂正箇所		誤		正	
	120頁	3 職員手当等	管理職手当	264	削る	
四二			超過勤務手当	114	超過勤務手当	378
	173頁		管理職手当	4,509	管理職手当	4,245
	職員手当等の内訳		超過勤務手当	13,059	超過勤務手当	13,323



議案第四十八号

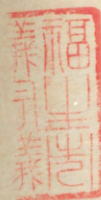
青梅線牛浜駅の本駅昇格並びに福生駅の「緑の窓口」開設に関する意見書
右の議案を提出する。

昭和四十八年三月十二日

提出者	岩田博	印
賛成者	高波忠	印
大野行夫	印	
石川信義	印	
貫井喜代次	印	
吉岡一三	印	
小林菊三	印	
川窪清一	印	
石川繁治	印	
伊東忠次郎	印	
小林才治	印	

福生市議会議長

末 次 性 男 殿



青梅線牛浜駅の本駅昇格並びに福生駅の「緑の窓口」開設に関する意見書



福生市の人口は、年々増加の一途をたどっており、これがため当市においては以前より区画整理事業を推進し、特に多摩河原地区の事業は本年度中に完了の予定であり、同地区には昨年より公団住宅約一千戸の建設工事が着手され、昭和四十九年早々より入居予定となっており、当然、市内国鉄各駅の利用者数は増大するものと思料されます。特にこれらの地域から国鉄牛浜駅は至近距離にあり乗降客の激増が予想され、また、市内バス路線の牛浜乗り入れもほぼ決定をみている段階であり、かかる状況の中で先般の国鉄合理化推進に際し、サービスの低下を理由に反対したが民間への業務委託が強行され、爾来、乗降客に大変な不便を与えている。

一例を挙げれば、つり銭がないとの理由でキップを売らない。また、夜の十時から翌朝六時までは窓口を閉鎖し、或は、最寄りの踏切遮断機の故障を連絡するも我れ関せずの態度等、枚挙に暇がない。これらは総て牛浜駅が本駅でないために起こるものであり、地域住民として真の旅客輸送サービスは国鉄職員によるべきものと考える。また、近年における旅行者の激増に対応するため「緑の窓口」の開設こそ市民の願うところであります。

よつて、次の二点についてその実現を強く要望するものである。

昨年十月、第二小学校通学路として指定されている、当市熊川五二八ノ七番地先五日市線無人踏切において、自転車にて横断中の学童が電車にはねられ即死するという痛ましい事故が発生いたしました。

この事故を契機として、第二小学校PTA富士見台支部等においては、再びこのような事故の発生しないよう「一声運動」を強力に展開するとともに、機会あるごとに学童に対し交通安全を呼びかけ、また、他地区PTAにおいても学校当局と協力し、事故の再発防止に熱心な活動を行なつてまいりました。

しかしながら、通学路踏切を現状のまま放直し、単に学童側へのみ注意を与えるだけでは、その安全確保は期し難く、第二、第三の悲しい事故の原因となるのではないかと憂慮いたします。

つきましては、諸事ご多忙中のこととは存じますが、何とぞ国鉄等とも十分ご協議下され、この踏切に遮断器および警報器の設置、若しくは他の安全な施設を設置され、安全通学路として整備していただきたく、関係市民等連署の上お願いいたす次第であります。

何とぞ私たちのお願いが早期に実現下さるようお願い申しあげます。

昭和四十八年三月三日

請願者代表

東京都福生市大字熊川一三一五

大 和 昭 造 印

東京都福生市大字熊川五〇七

佐 久 間 登 世 子 印

外一〇六二名

福生市議会議長 末 次 性 男 殿



第一 回福生市議会 定 例 会 議 録 (第 五 号)

昭和四十八年 三月二十八日福生市議会議場に第一 回福生市議会 定 例 会が開催された。

一 出席議員は次のとおりである。

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| 一番 貫井喜代次君 | 二番 小林菊三君 | 三番 小林才治君 |
| 四番 田村市郎君 | 五番 川窪清一君 | 六番 中曾根実君 |
| 七番 宇佐美良時君 | 八番 吉岡一三君 | 九番 — 君 |
| 十番 松山 清君 | 十一番 伊東忠次郎君 | 十二番 森田秀雄君 |
| 十三番 石川繁治君 | 十四番 小林暢吉君 | 十五番 岩田 博君 |
| 十六番 高波 忠君 | 十七番 関 米吉君 | 十八番 中里元一君 |
| 十九番 大野行夫君 | 二十番 — 君 | 二十一番 田村匡雄君 |
| 二十二番 塩野鉄之助君 | 二十三番 石川信義君 | 二十四番 末次性男君 |
- 一 欠席議員は次のとおりである。
- 九番 志村秀雄君 二十番 宮沢良一君
- 一 欠員は次のとおりである。
- なし



議二十七
議十六
議二十
議二十一
議二十二
議二十三
議二
議二十六
議二十八
議二十九

力一定
(力三日目)

式訂正

一 議事事務局職員は次のとおりである。

議事局長 島田 猛 君 議事係長 須崎 進 君 臨時速記 補佐事務員 長岡裕子 君 清水純一郎 君

一 地方自治法第二百二十一条の規定による出席説明員は次のとおりである。

市長 石川常太郎 君 助役 篠崎俊夫 君 収入役 橋本孝蔵 君

教育長 町田 倍二 君 企画調査室長 大野忠一 君 企画調査室主幹 生子国利 君

総務課長 高水 求 君 税務課長 田村忠雄 君 市民課長 森田 武 君

福祉課長 森田 猛 君 衛生課長 斎藤多市 君 経済課長 森田 進 君

建設課長 古谷徳男 君 都市計画課長 浅見裕康 君 水道課長 上野重勝 君

教育委員会庶務課長 内田和雄 君 教育委員会学務課長 井上久男 君 選挙管理委員会事務局長 乙津宗吉 君

一 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第一 議案の訂正について

日程第二 議案第十五号 福生市職員定数条例の一部を改正する条例 (審査報告)

日程第三 議案第二十七号 福生市組織条例 (審査報告)

日程第四 議案第十六号 議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 (審査報告)

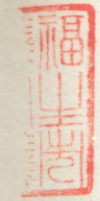
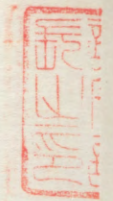
日程第五 議案第十七号 非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例 (審査報告)

日程第六 議案第十八号 福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例 (審査報告)

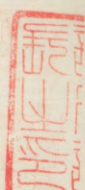
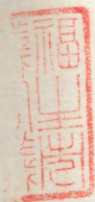
日程第七 議案第十九号 福生市教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例 (審査報告)

日程第八 議案第二十号 福生市消防団条例の一部を改正する条例 (審査報告)

日程第九 議案第二十一号 福生市用品調達基金条例の一部を改正する条例 (審査報告)



- 日程第十 議案第二十二号 福生市税賦課徴収条例の一部を改正する条例 (審査報告)
- 日程第十一 議案第二十三号 福生市都市計画税条例の一部を改正する条例 (審査報告)
- 日程第十二 議案第二十四号 福生市営住宅条例の一部を改正する条例 (審査報告)
- 日程第十三 議案第二十五号 福生市老人福祉手当条例の一部を改正する条例 (審査報告)
- 日程第十四 議案第二十六号 福生市中小企業振興資金融資条例の一部を改正する条例 (審査報告)
- 日程第十五 議案第二十八号 福生市庁舎増築基金条例 (審査報告)
- 日程第十六 議案第二十九号 福生市文化財保護条例 (審査報告)
- 日程第十七 議案第三十号 福生市立図書館設置条例 (審査報告)
- 日程第十八 議案第三十二号 福生市重度心身障害者福祉手当条例 (審査報告)
- 日程第十九 議案第三十三号 福生市社会福祉法人に対する補助金の交付の手續に関する
条例 (審査報告)
- 日程第二十 議案第三十四号 福生市予防衛生センター条例 (審査報告)
- 日程第二十一 議案第三十五号 市道路線の認定について (審査報告)
- 日程第二十二 議案第三十六号 市道路線の廃止について (審査報告)



- 日程第二十三 議案第三十九号 負担付寄付の受入れについて (審査報告)
- 日程第二十四 議案第四十号 昭和四十七年度福生市一般会計補正予算 (第六号) (審査報告)
- 日程第二十五 議案第四十二号 昭和四十八年度福生市一般会計予算 (審査報告)
- 日程第二十六 議案第四十三号 昭和四十八年度福生市国民健康保険特別会計予算 (審査報告)
- 日程第二十七 議案第四十四号 昭和四十八年度福生市公益質屋会計予算 (審査報告)
- 日程第二十八 議案第四十五号 昭和四十八年度福生市福生都市計画事業福生土地区画整理
事業会計予算 (審査報告)
- 日程第二十九 議案第四十六号 昭和四十八年度福生市公共用地会計予算 (審査報告)
- 日程第三十 議案第四十七号 昭和四十八年度福生市水道事業会計予算 (審査報告)
- 日程第三十一 陳情第七号 地域児童図書館設置に関する陳情書 (審査報告)
- 日程第三十二 西多摩農業共済事務組合議会議員の選挙 (審査報告)
- 日程第三十三 議案第四十九号 福生市議会委員会条例の一部を改正する条例 (審査報告)
- 日程第三十四 議案第五十号 福生市健康都市宣言 (審査報告)
- 日程第三十五 請願第二号 福生駅東口開発計画に関する請願書 (審査報告)